

作成日：西暦 2025 年 2 月 11 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：

リハビリテーション病棟入院患者に対する医師の帰結予測の精度検証

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

倫理審査委員会承認日～2026年3月31日に当院リハビリテーション病棟に入棟して、特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を算定された患者

2. 研究目的・方法・研究期間

(1) 研究の目的

患者の帰結予測を行うことは、医療者が具体的な患者の退院後の生活を見据え、リハビリテーションプログラムを患者に提供する上で重要です。臨床現場において、医療者は、患者の診療情報を収集、解釈した上で、自身の経験をもとに患者の帰結を予測し、リハビリテーションプログラムを立案します。

近年、従来の統計的手法を用いた帰結予測式だけでなく、機械学習を用いた帰結予測式が多く開発され、医療者はリハビリテーションプログラム立案時にそれらの帰結予測式で得た情報を役立てることもあります。

先行研究^{1,2}において帰結予測式の予測の精度は多く報告されている一方で、医療者が行う帰結予測の精度を検証した報告は、我々が調べ得た範囲では見当たりません。医療者が行う帰結予測の傾向を把握することは、医療者に気づきを与え、医療者が行う帰結予測の精度の改善に寄与する可能性があります。また、統計的手法を用いた帰結予測式の臨床的な価値を評価する上でも医療者が行う帰結予測の精度を明らかにしておくことは重要です。

そのため、本研究の目的は、医療者が行う帰結予測の傾向を明らかにするとともに、医療者の帰結予測と先行研究で報告されている帰結予測式の予測精度を比較することとします。

(2) 研究の方法

藤田医科大学病院リハビリテーション病棟に入院した患者に対し、入院直後と

入院 2 週間後の 2 時点で、患者を担当する医師（以下、担当医師）が退院時の帰結を予測します。帰結を予測する項目は、日常生活の機能評価である Functional Independence Measure（以下、FIM）の運動項目と摂食嚥下障害臨床的重症度分類である Dysphagia Severity Scale（以下、DSS）、摂食状況スケールである Eating Status Scale（以下、ESS）入院期間です。担当医師は、予測結果を紙媒体

に記録します。研究対象者は、藤田医科大学病院リハビリテーション病棟に入院した患者のうち、特定機能病院リハビリテーション病棟入院料を算定している者です。研究対象者に直接実施する内容はありません。研究対象者には研究内容をオプトアウトで通知し、診療データを利用します。研究対象者数は、観察期間を 12 ヶ月として、診療実績をもとに算出し、300 例としています。なお、研究分担者は、担当医師が帰結を予測する研究対象者の同時期の診療データを用い、先行研究で報告されている従来の統計的手法を用いた帰結予測式（以下、帰結式）の予測結果を算出します。

分析は、担当医師および予測式による予測結果と退院時の評価結果の決定係数を算出します。また、担当医師および帰結式の予測結果と退院時の評価結果の残差と残差の絶対値を算出し、担当医師と予測式の 2 群間で比較します。さらに、担当医師の予測結果の分布や分布の経時変化も観察します。

（ 3 ） 予定される研究期間

倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 患者の診療情報
 - 年齢、性別、疾患（重症度を含む）、障害側など
 - 身体機能：運動麻痺、感覚機能、非麻痺側機能、摂食嚥下機能など
 - 動作能力：基本動作能力、機能的自立度評価など
- ・ 担当医師が予測する FIM 運動項目の予測結果（入院時と入院 2 週間後）
- ・ 担当医師が予測する DSS の予測結果（入院時と入院 2 週間後）
- ・ 担当医師が予測する ESS の予測結果（入院時と入院 2 週間後）
- ・ 担当医師が予測する入院期間の予測結果（入院時と入院 2 週間後）
- ・ 予測式が算出する FIM 運動項目合計点の予測結果（入院時と入院 2 週間後）
- ・ 退院時の FIM 運動項目の評価結果
- ・ 退院時の DSS の評価結果
- ・ 退院時の ESS の評価結果
- ・ 入院期間

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

本学の研究責任者：

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 大高 洋平

6. 利益相反

本研究の研究資金は医学部リハビリテーション医学講座の講座研究費を使用し、外部からの資金の提供は受けません。その他に本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。また併せて藤田医科大学利益相反委員会へ申請を行い、適切な利益相反マネジメントを受けながら研究を行います。

7. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

8. 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医学部リハビリテーション医学講座

担当者：大高 洋平

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2167